

検査のパレット



あれっこんなにちがうの???

白血球数、赤血球数、Hb、血小板数の測定は最も基本的な血液検査です。このたび血液検査で白血球数が6時間で $13000/\mu\text{L}$ から $830/\mu\text{L}$ へ急激に減少した症例に遭遇しましたので、白血球数の変動についてお話をします。

細菌感染症が疑われる場合、白血球数が増加するのが普通ですが、細菌感染症の初期や重症感染症では急激に減少する場合があります。

理由としては、まず、細菌感染症が生じると血液中の白血球は感染巣に移動して総動員で貪食・殺菌を行います。そのため、血液中の白血球が減少すると言われています。1~2時間後、減少した白血球を補うために、臓器（肺 肝臓 脾臓など）に蓄えられている白血球が血液中に補充されますが、消費が供給を上回る場合には、血液中の白血球が増加しない事もあるそうです。

今回のように、短時間で急激に白血球が減少した場合、上記に示したような現象が示唆され、重篤な感染症が考えられました。

そこで、このような症例に遭遇した場合、

- ①測定器の故障の可能性はないのか？
- ②採血手技の問題はないのか？
- ③検体は凝固してないのか？

を考えて対応します。

具体的には

- ・同じ検体を再度、測定する。また、別の機械で測定する。
- ・点滴液の混入も考えられるので採血方法を担当ナースに確認する。必要であれば再採血をお願いする。
- ・検体が凝固していないかどうかを確認し、凝固している場合は、再採血をお願いする。
- ・生化学検査など他の検査結果をみる。（たとえばCRPや赤沈など）

そして、機械からのメッセージによっては、標本を作成し、顕微鏡下で目視鏡頭をします。

目視鏡頭では、フィブリンの有無、血小板の凝集塊、異常細胞などの確認ができます。

また白血球数が、 $3万/\mu\text{L}$ 以上、 $1000/\mu\text{L}$ 以下の場合、白血病の可能性も考えられるので特に視野にいれて鏡頭をします。

以上の対応をした上で結果を報告しています。

採血困難な患者様もいらっしゃると思いますがどうぞよろしくお願いします。

※質問等ございましたらお気軽におたずねください。

今後とも検査室をどうぞよろしくお願いします。

文責：笠井 順子 監修：石竹 久仁